

TEAM GUREKO 関東 第三回 GUREKO 杯  
(2006年1月度例会)

釣行日：2006年1月28日(土曜日)

開催場所：伊豆半島・大瀬

利用渡船：大倉丸(倉の下)

参加者名：【会員】清水、早藤、八尾、松本、坂根、北山、金田、広垣

11月のGUREKO杯が天候急変のためノーゲームと成り、大会は越年しての開催。

開催場所は、当初、伊浜での開催を予定していたが、前日の予報は「西風」。ただ、風はそれほど強く吹かない予報だったので、出船は間違い無しと確信して予約していた伊浜の宝洋丸さんに電話すると、「予報が悪いので、申し訳ないですが出船しません。」との思いがけない回答。

あわてて金田幹事に相談して、急遽、大瀬での開催となりました。(金田さんの事前シュミレーションに助けられました。さすが、幹事経験が豊富。)

大瀬の倉の下さんは、急な申し出にも関わらず(西風の予報だったので、当然大瀬は大人気)、船長は一生懸命悩んだ挙句に「わかりました。折角の金田さんのお願いなんで予約はこれで打ち切って、何とか釣ってもらって大会が成立できるようにがんばります。」とのうれしい言葉をくれたそうです。

朝6時30分の出船時には、大瀬港に総勢33名の釣り人が集合。我々は予約が最後ということもあり、2番船でしたが船長は要所要所の磯を空けておいてくれ、全滅を避けるために東西にちらして乗せると言う配慮をみせてくれました。

先頭幹事の広垣と坂根会員が“大根”、松本会員と北山会員が“笠島”、清水会員と早藤会員が“平島”、八尾会員と金田後方幹事が“マタカ根”にそれぞれ渡礁して大会がスタートしました。



それぞれの磯の状況を会員に実況レポートしてもらったので、以下に記します。

#### <大根>広垣レポート

大根は隣の渡船区の下流に最も近い地続きの磯で、水深は6~7mカジメが生い茂りいかにも黒鯛がいそうな雰囲気。大瀬の中では大きい磯で比較的、釣座も良く波、風にも強い磯。

私は、船長に薦められたポイントで竿を出したが、3mほど離れたポイントに入った坂根さんはタモ入れを連発しているのに、こちらは付け餌すら取られない・・・。

10時のポイント移動を機に、釣り座を次々と変え、メジナ君の居そうな場所を探るが、ぽつぽつと嬉しくない外道が釣れてくるのみ。

コマセを撒いて海の中を観察しても、オキアミが海底に着くのが確認できる有様。トホホ。

途中、ウキがきれいに消しこみ、結構な手ごたえの後チモトで切られたが、尾長ではなくフグと確信できてしまった。悲しい～。

#### <平島>清水会員レポート

名前の通り比較的平らな磯で、沖向きの先端は時折大きなうねりが足元を洗うがそこから発生したサラシがきれいな潮目を作りいかにも釣れそうな雰囲気。私はそこにチャラン棒を打ち釣り座を構えました。

変わって早藤氏は、地方寄りのワンドに釣り座を構えしもり根を重点的にねらいました。

私の方はいつものように、竿をセットする前に込ませを撒き海中の様子を見たが、餌取りの姿すら見られず開始早々厳しい状況になると予感しました。

しかし、この時期は水温の変動により魚の活性は非常にシビアになるのであきらめずに込ませを撒き続け、サラシの中を丹念にせめました。悪い予感的中し、3～4時間経っても餌がとられるのは1～2回のみ掛かった魚は北枕一匹と一向に魚の活性は上がりません。

そんな渋い状況の中早藤氏が、なにやら掛かけたようでやり取りをしているではないか！しかし、タモに収まったのは30cm程のタカノハ鯛と一番釣ってはいけない魚をつりあげてしまいました。

#### <マタカ根>八尾会員レポート

マタカ根は大瀬でも一番西寄りの根で、くじ数字の小さい私は風を背に受ける東側、金田さんは良いサラシが出ている西向きに陣取って7時半過ぎから実釣を開始した。

しかしながら当方が撒き餌を撒けども撒けども全く餌取りさえも見えない状態がそのまま2時過ぎの撤収時まで続いたのであった。

グレコ浮きのBからO ORまで、針を2号から0.8号まで小さくしても何も反応が無い状態でした。一方金田さんも数cmのカジカを釣り上げたのみでメジナの姿を見ることは出来ませんでした。渡礁直後は2mのうねりがあったが9時過ぎころからは少し治まってきて、雰囲気的には良かったにも拘わらず本当にクヤシー思いの一日でした。

上記、実況レポートにもありますように、当日は超渋々の状況で(全体の約8割がメジナポーズ)、なんとか北山会員と坂根会員がキーパーサイズ(30cm以上)を2枚ずつ(30-34.5cm)検量に持ち込んでくれました(実は北山会員は42cmも釣ったが、チョンボり磯だったため波で流されたそうです・・・、残念。)

で、結果はというと僅差で北山会員が優勝、坂根会員が準優勝となりました。



最後に、優勝者の北山会員のコメントです。

渋い釣りでした。クジ4番、渡船の中で金田さんの‘チャラン棒持ってる？’の質問に微妙に？を覚えつつ磯を見て納得。波が磯を洗い、チャラン棒が無いと釣りにならない場所でした。波が磯

を洗い流していく中で午前中はアタリを取れず、数回エサが取られるだけ。00全層の仕掛けを上手く潜らせる事が出来ずに午後を迎えました。潮が変わり、キワを狙えそうになったので、G2のウキにG3とG7、後にG5のジントンを加えタナを5m程（遊動1m程）に設定し、キワから竿1本程の範囲を探り始めました。ウキがジワリと沈んだ気がしたので聞き合わせ。心地よい重みが乗り、糸を鳴らしながら1尾目をゲット。かなりの型物で42cmの口太。（しかし、このメジナは波にさらわれ脱走してしまいました。）

その後もしつこく足元狙い。結果キープ2枚出来ました。初めての大瀬。初めての笠島。断続的に出来るサラシの切れ目にウキが翻弄される時にアタリが出ていました。天然の誘いになっていたのかな？途中、針だけを交換した際にウキ止めの位置を換えずにいるとエサがそのまま残り、再度15cm程修正するとエサが取られ始めました。魚のタナは一定していたようです。メジナが流されパニックっていた時に松本さんの助けを得られて感謝しております。また、今回渡礁した笠島は年に2-3回しか人が乗らないところらしく、渡して頂いた船長に感謝です。



### 【第三回GUREKO杯結果】

- 順位-	- 名前-	- 総重量-	- 最大サイズ-	- 釣り場-
優勝	北山	1450 g	34.5 cm	(笠島)
準優勝	坂根	1350 g	34.5 cm	(大根)
鯛賞	早藤	タカノハダイ	30オーバー	(平島)
多目賞	広垣	メジナ/ベラ/クサフグ/ウミタナゴ		(大根)
大物賞	北山		34.5 cm	(笠島)
ベベ2賞	松本			
伊豆賞	早藤			

文責：広垣

写真提供：清水、早藤、金田、広垣